

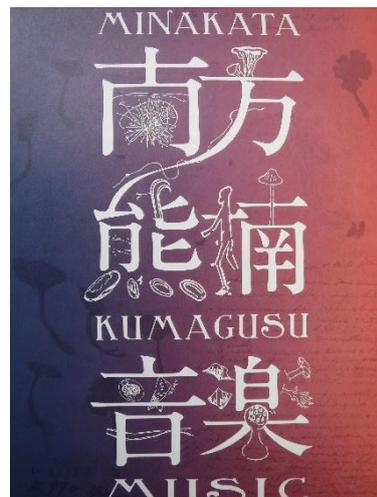
「南方熊楠音楽」の楽しみ方

館内で流れている「南方熊楠音楽」はパーカッション奏者永井朋生さんが演奏しています。

「南方熊楠音楽」は2曲からなっています。ホールや展示室、渡り廊下の椅子に腰かけて、ゆっくり「南方熊楠音楽」をお楽しみください。

この二曲は、二階展示室の「南方マンダラ」が描かれた自動扉が開くと、混じりあい、新しい響きになります。熊楠音楽の萃点、体験してみてください。

詳しくは、コンセプトブックを御覧下さい。⇒



曲名	南方熊楠の一日	熊楠脳内粘菌術
場所	エントランスホール、二階渡り廊下	二階展示室
時間	11分41秒×3 とつなぎの音3つで 1ループ35分50秒	7分27秒×3 とつなぎの音3つで 1ループ23分36秒
テーマ	熊楠が愛した森や海、自然の中で過ごす一日	熊楠のアタマの中、採集した膨大な数の標本、粘菌
特徴	番所山で録音した海の音、森の音、虫の声をベースに番所山で採集した楠の枝や葉で作った楽器や、紀州備長炭の楽器で作った曲。 鳥や波の音などの自然の音の響きは、実際の森の音ではないかとの錯覚を起こす。記念館の中と外の空間を繋げている。	人間の声と紀州備長炭の楽器の響きを使い、熊楠の脳内で巡りまわる膨大な情報量の行き交う様を表現。 各標本が同時に熊楠に語りかけ、混ざり合い、彼の頭のなかで一つの流れになっていく。
つながりの音	1 和紙の本「和漢三才図絵」のページをめくる音 2 「鈴石」の音（天然石の鈴の音） 3 古雑誌「日本及び日本人」のページをめくる音	1 「鈴石」の音 2 書籍「日本の民家」のページをめくる音 3 古雑誌「日本及び日本人」のページをめくる音
スピーカー	円卓上（立方体） ロッカーの上（円柱形） 階段天井（立方体白） 渡り廊下天井（立方体白）	展示室入口近くの天井（立方体黒） 展示室奥の天井（円柱形）

スピーカーはどこに？ 探してみよう！

「南方熊楠音楽」を再生しているスピーカーは、すべて田口音響研究所の作品です。田口音響研究所では、電気音響再生システムで最も重要な構成部品である平面波スピーカーユニットとシステムを、すべて日本国内で研究開発、製造しています。

「音の気配」、「質感」の再現性が優れ、距離減衰が少ない「和の趣」を表現できるスピーカー。音のすばらしさを、ぜひ、館内のいろんな場所でお楽しみください。

一階エントランスホール円卓上



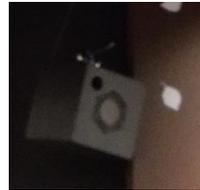
一階ロッカーの上



階段と渡り廊下



二階展示室入口



二階展示室奥



南方熊楠音楽の萃点？

